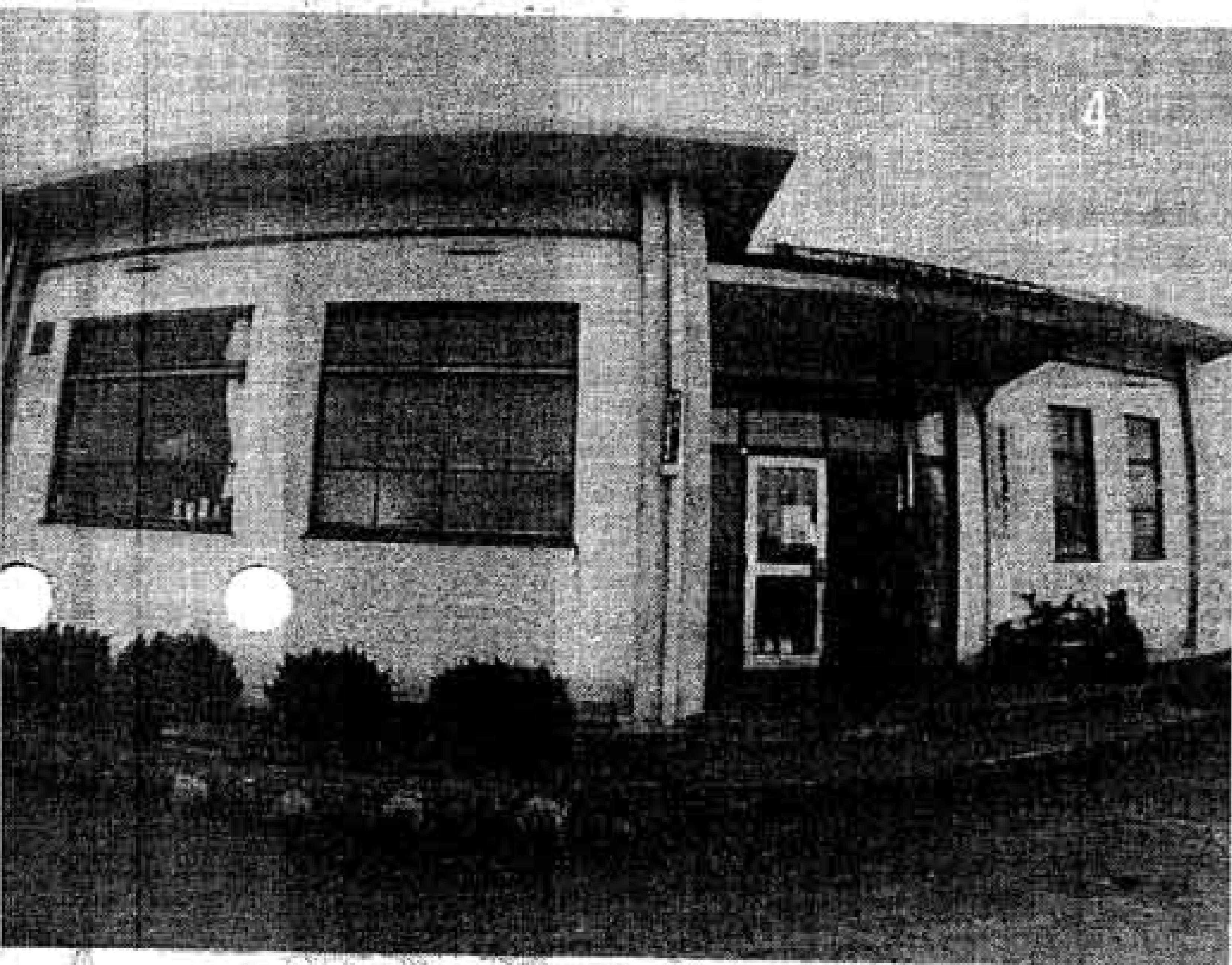
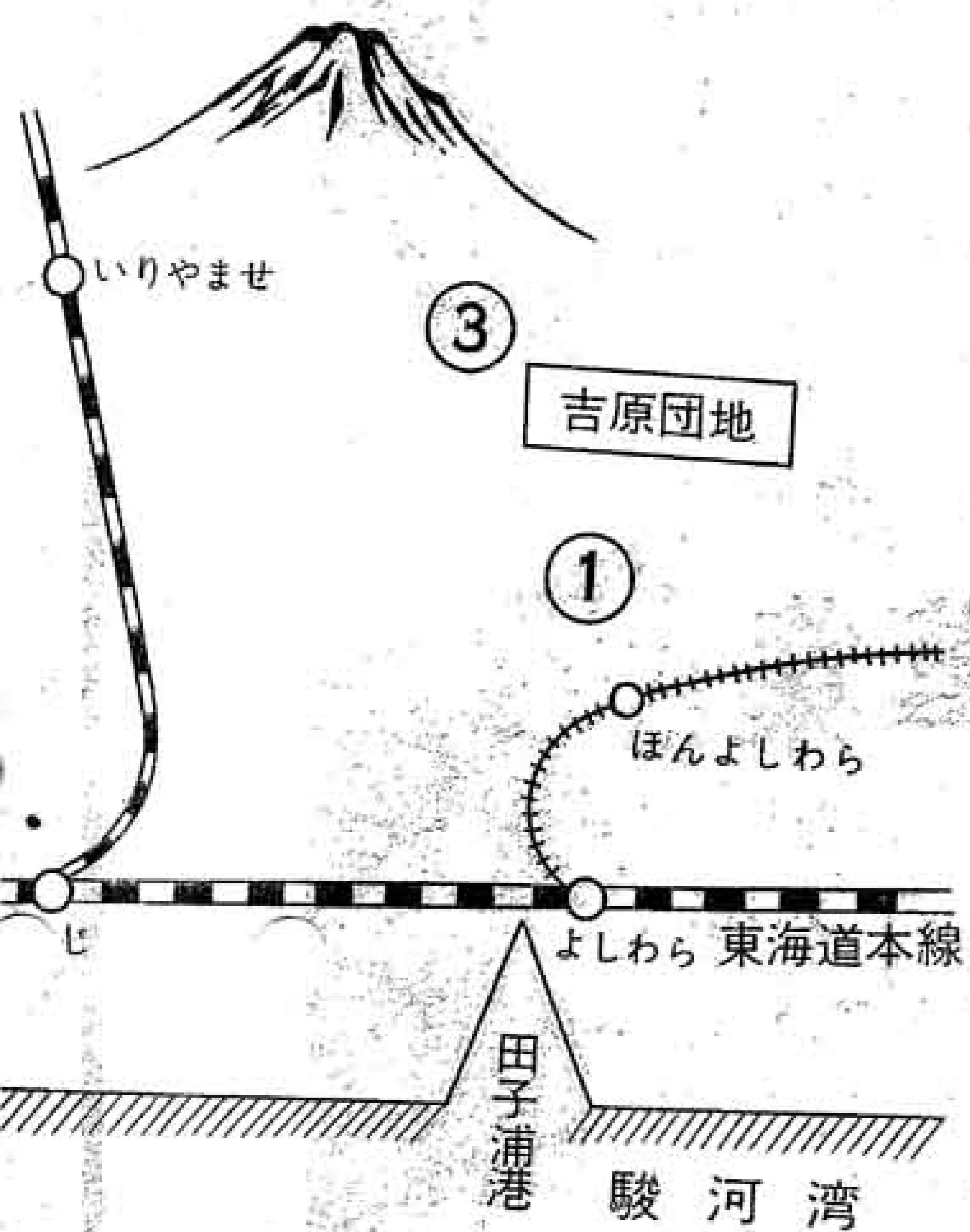


の 施 設

市内には、図書館、文化センター、公民館など市民みなさんに利用していただく施設が数多くあります。さらに、新しい公共施設は、みなさんの思い、税金でつくられた、みなさんの施設です。そこで、この号からみなさんに各公共施設の内容を知っていただき、利用していただくため、順次紹介していきます。



緑と空間のある 田園産業都市を



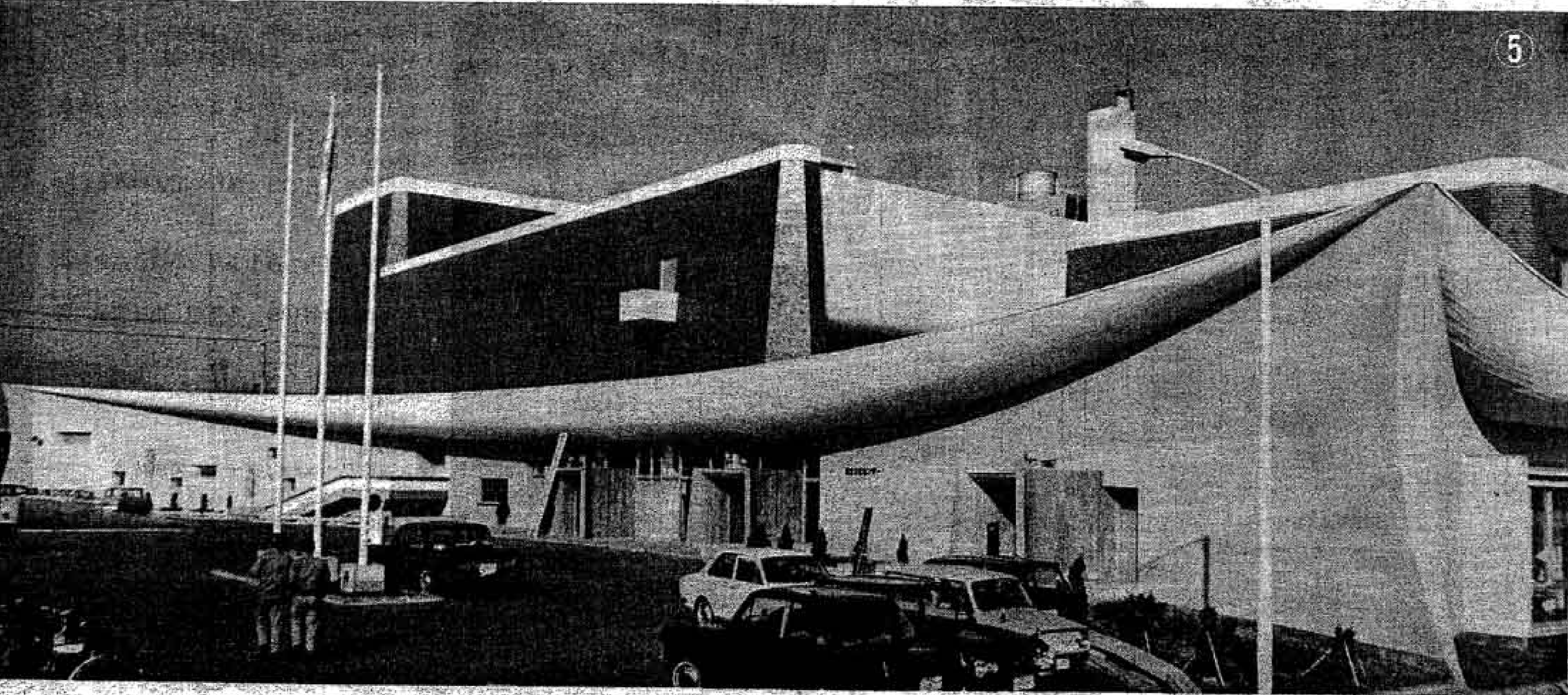
富士市長 齊藤滋与史

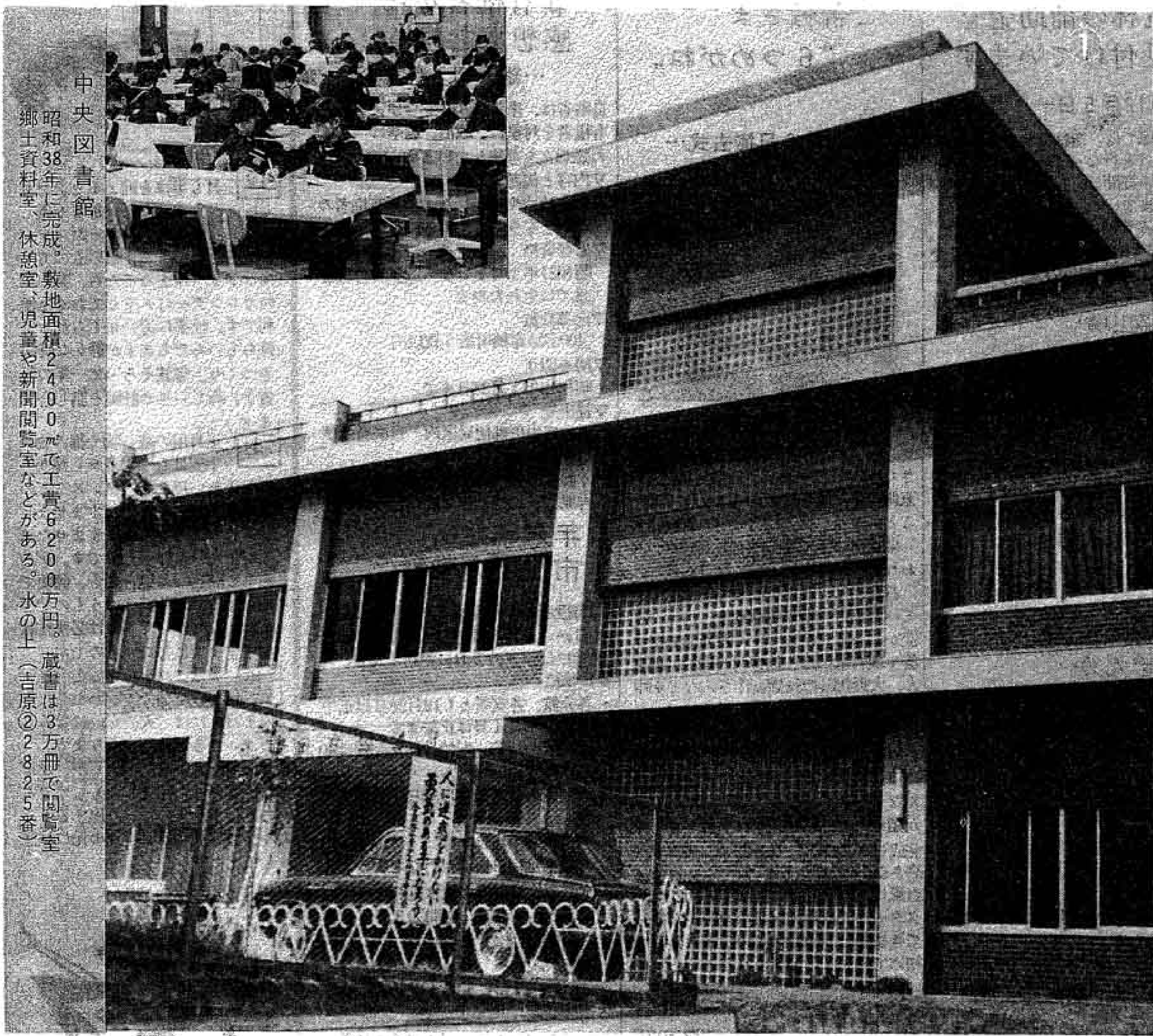
私はみなさんのご支援をいただきまして、岳南2市1町合併の初代市長に就任いたしました。思えば、新生「富士市」は、幾多先人によってつちかわれた努力の結晶と、郷土愛に燃える16万市民の深い理解と協力がその「時」と「人の和」を得て、実を結ばせたのであります。新「富士市」のビジョンは、富士市総合開発計画書に描かれた「緑と空間のある田園産業都市の実現だと思えます。しかし、このような開発、いいかえれば経済開発も社会開発も、みなさんの「福祉」を基調にしたものでなければ「百害あって一利なし」になりかねないので、慎重のうえにも慎重を期し、総合開発計画を一つ一つ具体化していくつもりです。

なかでも、私は水、道路、公害、教育、福祉施設については、行政権力を結集して、整備充実をはかりたいと思っています。水対策については、地下水依存は極力さけて、富士川用水、東駿河湾用水などの「大きな水」確保に努めます。産業の基盤となる道路網は、東名ハイウェイの完成が待たれるわけですが、市内を東西に貫く国道一号線がマヒ状態になっているのでバイパス（由比～沼津）を早期に完成させたいと思います。主要路線の拡市や舗装は申すまでもないことです。公害問題は「工都」にとって、大きな悩み事の一つでありますので、発生源の探究、関係者には防止装置を講じてもらうなど、未然防止に万全策をはかっていくつもりです……

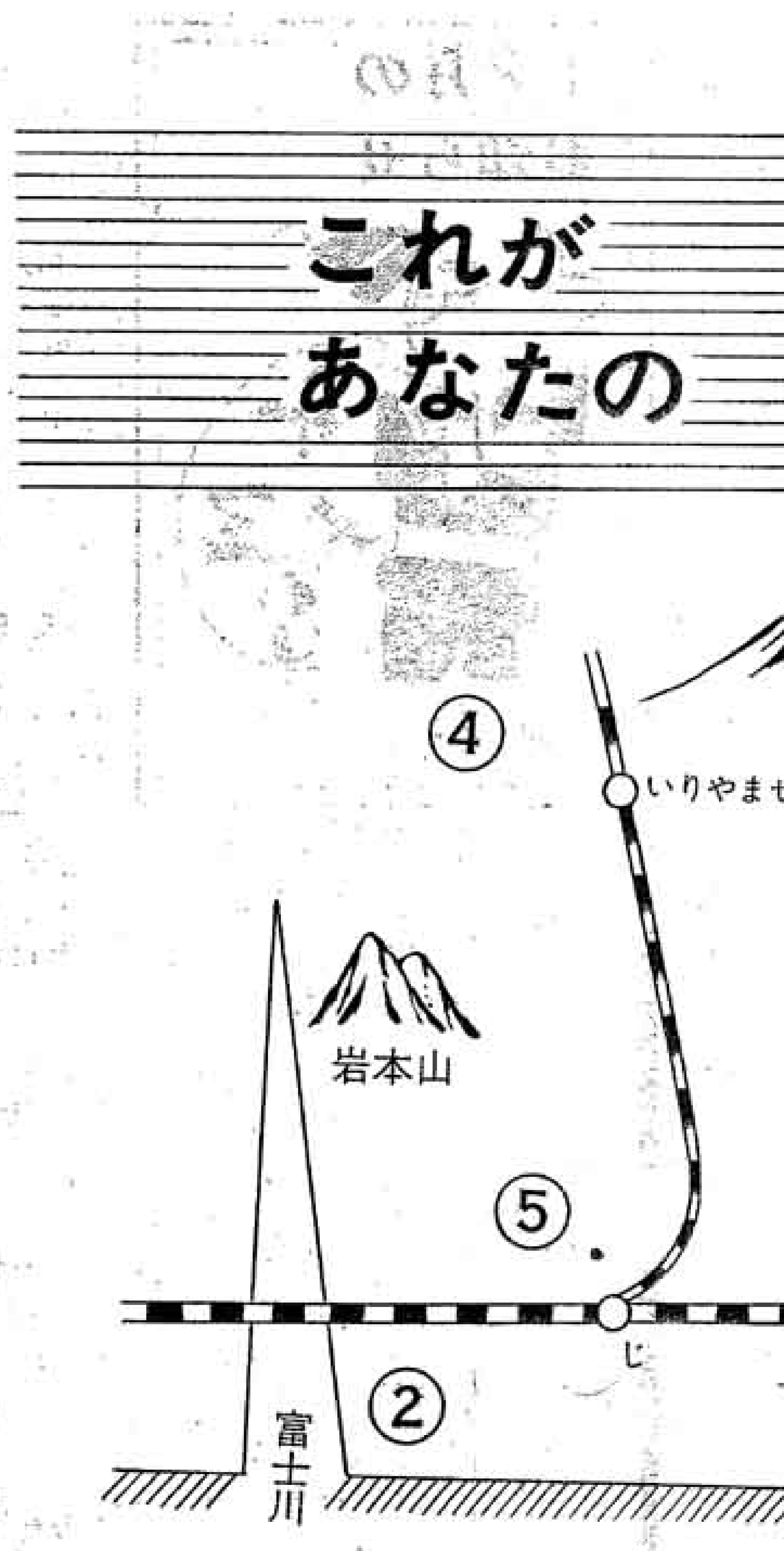
ともかく、私は県下で4番目の広域都市「富士市」16万5千市民のよりよい「働く場所」「住む場所」「憩いの場所」をつくりあげたいと思っています。

文化センター
市民の文化活動の場として昭和41年3月に工費2億8000万円を投じて完成した。大ホール、会議室、多目的室、3部屋、結婚式場、食堂、ボウリング場などがある。平塚町（富士）6262番

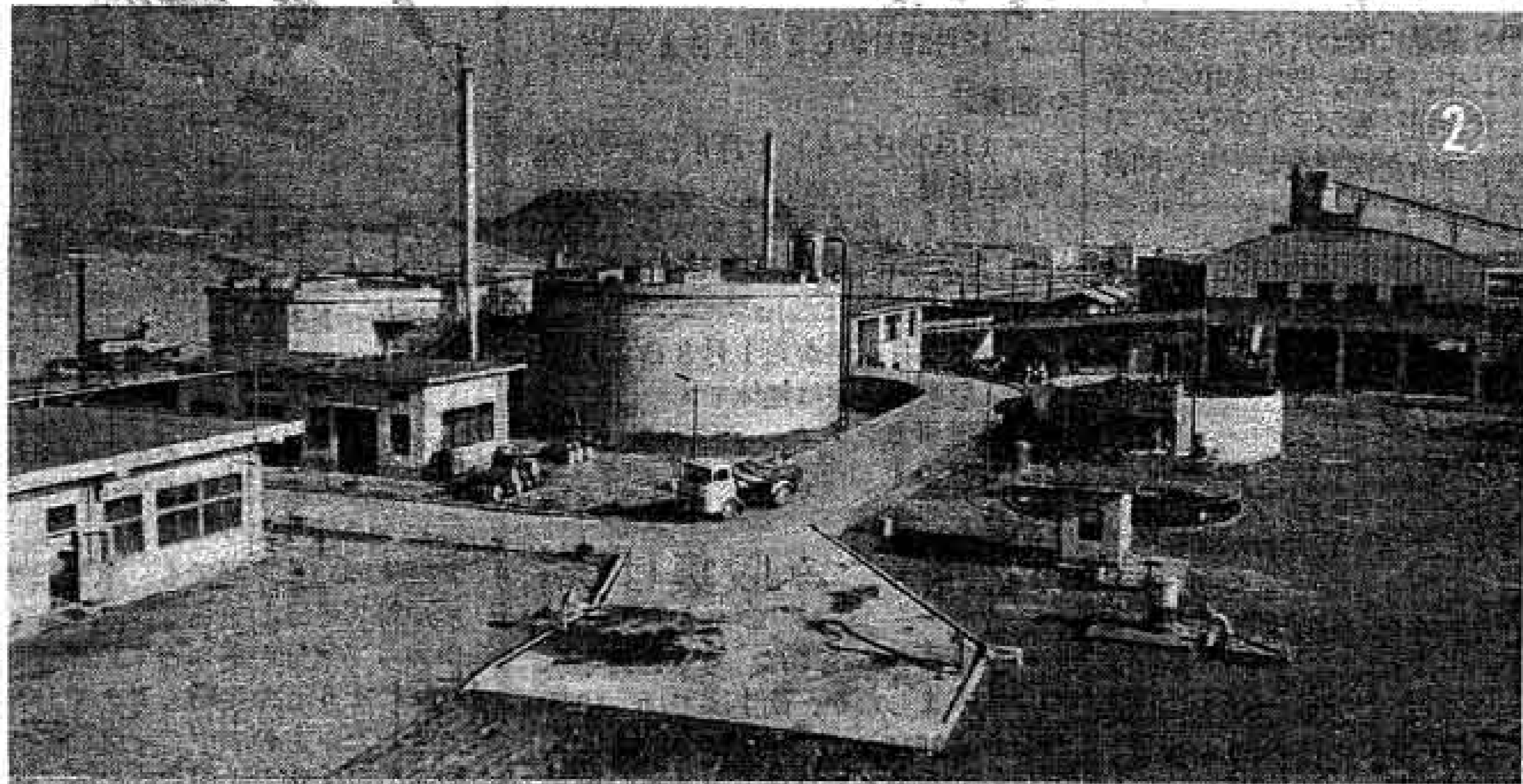




中央図書館
昭和38年に完成。敷地面積2400㎡で工費6200万円。蔵書は3万冊で図書室、郷土資料室、休憩室、児童や新聞閲覧室などがある。水の上（吉原②2825番）



これが
あなたの

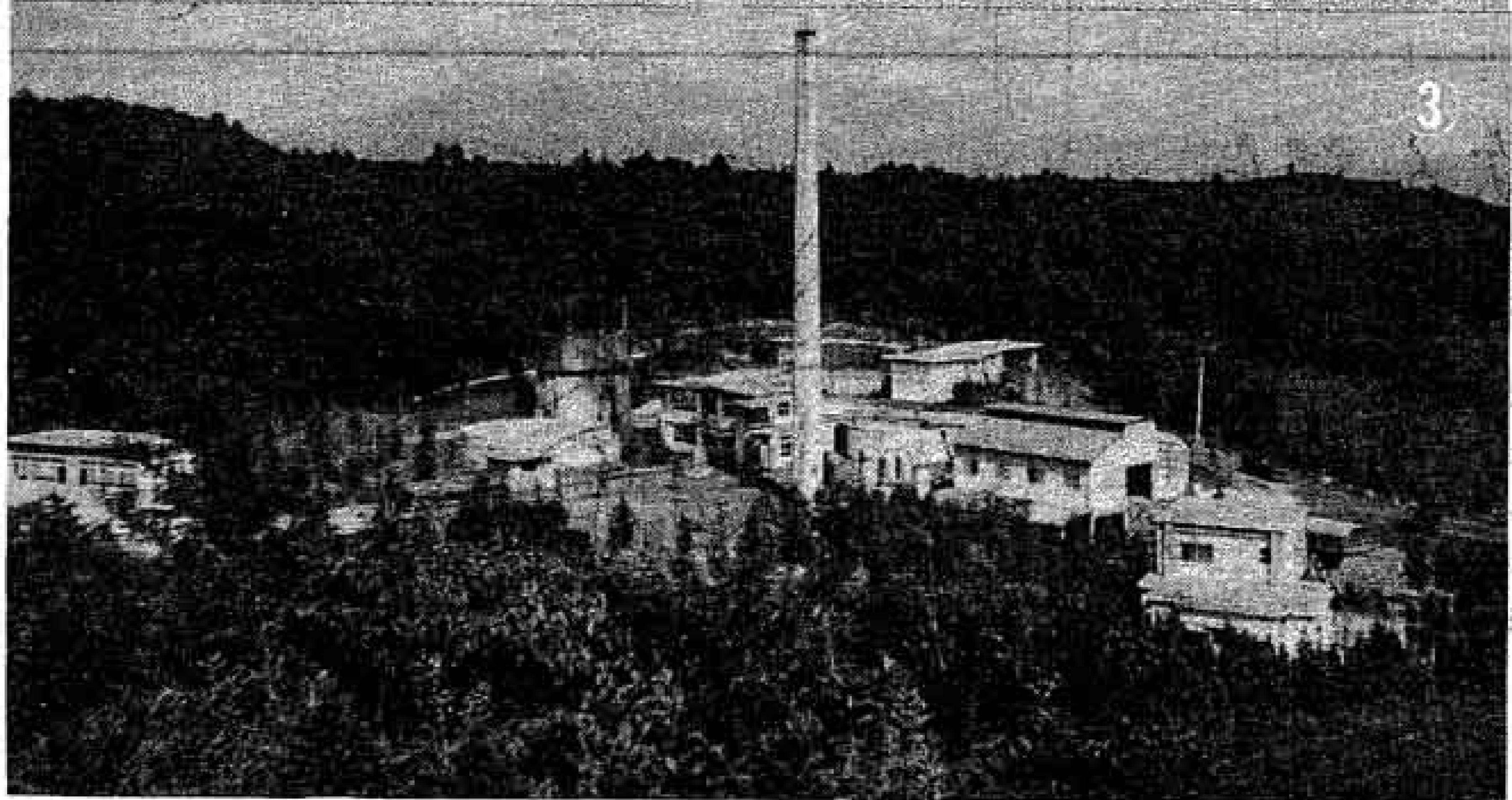


第三清掃作業所 ↑

ゴミ焼却場は36年、し尿処理場は37年に完成。1日の処理能力はゴミが30t、し尿が54t。五貫島（ゴミ焼却場⑩1096番、し尿処理場⑥1956番）

第一清掃作業所

昭和38年に作業を開始。敷地面積は39600㎡で総工費1億8000万円。1日の処理能力はゴミ50t、し尿90t。久保町（吉原⑤0081番）



母子健康センター

敷地面積1696㎡で鉄筋コンクリート造り。工費は650万円。昭和37年に完成。産婦室3部屋（8ベッド）、分娩室、乳幼児指導室、水浴室などがある。入山種（藤岡3130番）

